

ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ紛争、不安定な東アジア情勢、そして日本だけでなく世界各地で頻発する地震、津波などの大規模自然災害。私たち人類の存続を脅かす「脅威」は、ヒギンス氏に講演いただいた2010年時点から、さらに深刻な状況になっていると言えます。

そして、それらの「脅威」を超えた恐ろしい「脅威」として、ヒギンス氏が定義した「第七の敵」、つまり人間の心の中にある「無知」「無関心」とどのように対処すべきかが私たち一人一人に問われています。

今回の特集記事が新たな気づきと行動へのヒントとなれば幸いです。

人類生存を脅かす6つの世界的脅威

1978年に出版された私の初めての著書「第七の敵～地球的危機における人的要因」で述べているように、人類の生存を脅かす6つの「脅威」とは、①人口爆発②食料危機③石油や水など資源の枯渇とそれによって引き起こされる紛争④環境汚染と地球温暖化⑤核兵器拡散⑥制御不可能な科学技術です。

それらに対し、私たちは政治的に対処する必要があります。特に、世界人口の半分を占める第3世界の絶望的なニーズにはぜひとも取り組まなければなりません。

これら6つの脅威のいくつかは、相互に影響しています。例えば、より多くの食料を必要とすれば、大量の肥料を使います、流出した肥料は河川の汚染を引き起こし、水棲植物の異常発生を招いて灌漑や水上交通を阻害します。私たちはこの種の悪循環も考慮しなければなりません。



基調講演「第7の敵」の様子

SIX KEY GLOBAL THREATS



1. Southern over-population. Northern over-consumption. (2 bn. in 1900, 6.7 now, 9 by 2050!)
2. Maldistribution of food.
3. Resource shortage – oil, water, minerals, fish....
4. Environmental deterioration.
5. Nuclear spread.
6. Technology and "Growth" unrestrained.

Are these threats mutually reinforcing? And converging? Or is this all too pessimistic?

6つの世界的脅威

さらに深刻な7つ目の脅威

世界的危機はますます深刻になっています。そして、第三世界の貧困が更に悪化しているという認識が、南北対立の原因になっています。過剰な貿易保護をめぐる論争やテロリズム、反米主義、反西洋主義、反イスラム主義などからも見てとれます。

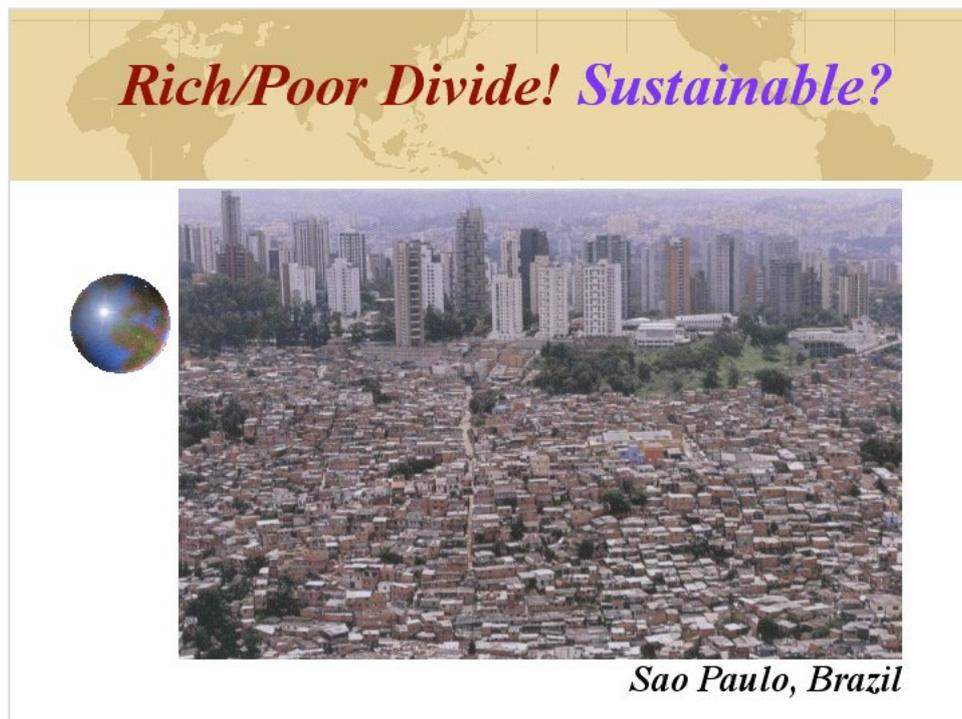
一方、地球の気候変動も年々深刻化しています。さらに、経済的景気後退という恐ろしく複雑な問題もあります。

例えば、ブラジルのサンパウロ市は明らかに、南北の貧困格差を示しています。この人口約2,000万人の大都市には、富める人々と貧しい人々の住む地域の間、コンクリートの大きな壁があります。これは道義的に恥ずかしいだけでなく、実にばかげています。壁を作ったからといって公衆衛生や健康、そして民主主義が保障されるはずはないのは明らかです。

しかし、実際にそのような状況で生活していなければ、それほど批判はできないのではないのでしょうか。私たちの壁はコンクリートではなく、むしろ心理的なものかもしれません。なぜ、私たちはこれを容認し、国際的関心がこうも冷ややかなのでしょうか。

私たちの道徳的良心が触発されないのなら、少なくとも、このような状況は私たちの長期的な安全を脅かしているのだと認識する必要があります。これは絶対に異常な状況です。

このように、7つ目の「脅威」は、政治的惰性と人間の心の中にある「無知」「無関心」です。人類は、この内なる敵と真剣に向き合わなければなりません。



ブラジルのサンパウロ市

世界的危機に対する私たちの対応

複雑で多面的な現実、ライバルとの利益や競争、多様なニーズに対応するには、ただ1つの解決策という考え方はあり得ません。

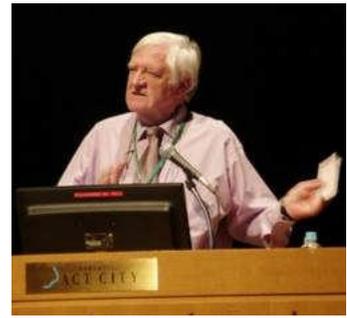
私たちは何をすべきでしょうか。その1つは支配ではなく、対話の精神です。

必要なのは、強い国の利己的な支配に対し弱い国が消極的に服従するような不毛な関係ではなく、国際的安定という共通の関心を持った人と人、国と国の間の対話です。

また、成熟した国際社会は、完全な相互依存と自制が必要であり、それを事実として受け止めるべきです。経済と気候変動に応じた問題に求められる解決策は、国益だけでなく、国際的な関心事でもあると思考する必要があります。私たちは、すべての国の将来は世界の将来と密接に結びついている、ということをやっと学んでいるのです。

さらに、「富」や「成長」が意味するものを再認識することも重要です。何のための成長なのか、到達点は何か、お金儲けのためだけなのか。例えば、自然そのものは私たちの資本ですが、地球上の限りある資源と私たちの社会的関係を考え、気候の安定のために森林へ依存する一方で森林自体の美しさを保つことが求められています。

私たちが生活のあらゆる次元での持続可能性を達成したいのなら、「富」と実践的な市場の力、さらに企業や労働組合、政治や地方と中央の力に関するすべての基準を再定義しなければなりません。



講演するヒギンス氏

7つ目の脅威は無知・無関心

一方、第7の敵への個人的な対応は、まずは私たちの狭量な認識を再確認し、ものの見方を完全に变えることです。私たちの客観性に欠ける点を自己批判しなければなりません。

私たちは知識を増やし、もっと総合的に物事を見なければなりません。さらに、私たちの価値は何か、もう一度見直す必要もあります。

次に、唯一の救済策という考え方を放棄することです。部分的にせよ、他の予期せぬ困難を含んでしまいます。問題を解決するために、課題が多くなっていることがあるのです。

さらに、思考無き楽観主義と無意識的な悲観主義の放棄です。考えの無い楽観主義からは自己満足が生じるだけ、考えの無い悲観主義は絶望を招きます。どちらも不必要か遅すぎるかで、何も生み出しません。しかし、現実的であるならば、最悪の可能性ということを見ながら、それに対して何とか解決につながる道が見つかるかもしれないのです。

心の闇を照らす7つの提言

差し迫った人類の危機に対する無知や無関心という私たちの心の闇には、下記のとおり7つの対策が考えられます。

- ① 知的な恐怖心を養う: 正しく思慮深い感情と、賢明な思考を伴った真の根性を持つべき。最悪の可能性を知的に直視すると同時に、意識下の深い部分で今起きていることを理解する必要がある。

- ② 自覚を持つ:有害な行動に気づかずに共犯となることや、同様に行動を起こさないことから生じる共犯状況も回避すべき。
- ③ ヴィジョンを持って自覚:物事はあまりにも早く変化しており、私たちが今どこにいて、どこに向かっているのかを理解するのは難しい。
- ④ 女性の再評価:権利平等としての女性解放を超えた本質的なもので、他人がどこにいるのかを解読する、慎重な感情を踏まえた情緒的な知性は女性の側面である。
- ⑤ 緊張は歓迎するべき:緊張というのは本質的に人生の重要な一部。合理的かつ民主的政治に重要なことは、十分な自覚と現実的な妥協が必要。
- ⑥ 良識の倫理や善悪の行動には意識をその中心に置く:現在の状況と実行した場合の影響や結果を全体的に考えるべき。道徳的な完璧主義というのは、非現実的で危険。混沌とした状況を受け入れ、私たちの自覚にもっと注視する。
- ⑦ 精神性に再び目覚める:、国家や主義信条などの違いを超え、すべての自然環境をも包摂した全世界的な和解や、支配ではなく奉仕の心が大切。平等で安全な世界にという願いのシンボルになる。

よりユニヴァーサルな視点を

このように、6つの脅威と無知や無関心という7つ目の敵に対する私たちの意識の高まりは、私たちの決心を促すきっかけや、様々な困難を切り抜ける転換点になる可能性があるかもしれません。より確かな自覚、もっと活発な民衆の反応などが徐々に形成されていくでしょう。

さらに、創造力やユーモア、遊び心をもたらす無意識の力、あるいは予期せぬ力にも気をつける必要があります。

私たちは様々な失望や落胆に悩むことがあります、一方で真の成果や勇気付けられることもあります。例えば、私が「第7の敵」を書いた1970年代よりも、今では集合的かつ国際的な行動がたくさんあります。より意識が高く、現実主義的です。そして、若者や高齢者による多くの活動が世界中で起こっています。

私たちは、本当にユニヴァーサルな視点やユニヴァーサルな関心事、ユニヴァーサルな価値とユニヴァーサルな実績を同時に求めていかなばなりません。

国際ユニヴァーサルデザイン協議会は、今後も私たちに元気と思いやり、決意、さらに気づきを与えつつ、これからの行先を示し続けていくと私は確信しています。

※ヒギンス氏が登壇した「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in はままつ」基調講演の全文は、販売中の「国際UD会議 予稿集・論文集・講演集2002～2019」に収録されています。詳細及び購入ご希望の方は[こちら](#)をご覧ください。



リカレント教育や経営幹部養成プログラムに活用を 国際UD研究講座第1期受講生募集中

IAUDは「国際UD研究講座」第1期の受講生を募集中です。

「国際UD研究講座」では、新たなUD思考を身につけるリカレント教育やリスキングのコースをオンラインで提供します。多様なUD領域の中から受講生の個性や能力に応じた選択肢を準備しており、基礎と専門のメソッドを習得できるようなカリキュラムになっています。

2023年10月に開講しておりますが、終了した選択講義はオンデマンドで視聴できますので、中途からの受講も可能です。なお、IAUD会員および学生は受講料が割引になります。

自己研修や経営幹部養成プログラムの一環としてぜひ活用いただきますよう、皆様の参加をお待ちしています。

※国際UD研究講座の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※国際UD研究講座の内容を順次公開しているInstagramは[こちら](#)をご覧ください。



在宅で好きな時にUD資格習得

UD検定オンライン 第21回中級開催のご案内

IAUDは、「UD検定中級第21回」をオンラインで開催します。

「UD検定中級」は、力試し問題と検定試験(70分・129問)を受けていただきます。試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」に準拠して出題されます。受験される方は事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に試験をお受けください。

合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には認定証を発行します。

「UD検定オンライン中級第21回」の申し込み受付は、**4月17日(水)**までです。この機会にぜひ、ご利用ください。

※お申込み及び詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※「UD検定オンライン第1回中級」開催報告のNewsletterは[こちら](#)をご覧ください。



公式テキストブック

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 事務局

<http://www.iaud.net/>

e-mail: info@iaud.net

Instagram: [iaud.info](#)

LinkedIn: [international association for universal design](#)